

第1表 道内ニンジン生産推移

年次	面積	生産量	移出量
33	2,280	40,700	—
34	2,340	42,400	9,227
35	2,500	46,800	—
36	2,652	49,642	20,500

道内の生産は一表の通りで年々増加を続け道外への移出も馬鈴薯、玉葱には及ばないが八月より十月にかけて海峽をわたり、特に八、九月は高温期にある府県では生産がなく道産

物が高値をきかしている。一方、道内市場の価格の変動は一図に示す如く生産のない七月がもっとも高く新潟、埼玉、千葉県のいわゆる内地物が入荷している。したがって道外移出もさることながら道内市場への早出し、あるいは貯蔵して随時出荷する設備なども考えなければならぬ問題である。道外移出は地の利を生かして東京市場を席捲してやろうではないですか。

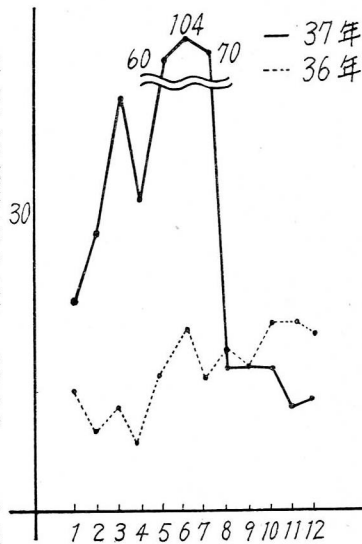
抽臺問題

昨年、一昨年と水害やら長雨でにんじんが高値を呼んだことはご承知の通りであるが、一方で採種ににんじんにも影響して種子不足をきたし、外国種子にたよらざるを得ない事情となった。この種子を道産種子と同様に早播したためにとう立をして二度蒔やら他作物に転換を余儀なくされた方も多かったと聞いています。今年も種子は不足気味らしいのでこの点を少し考えて昨年

の轍をふみたくないものです。昨年、一昨年と水害やら長雨でにんじんが高値を呼んだことはご承知の通りであるが、一方で採種ににんじんにも影響して種子不足をきたし、外国種子にたよらざるを得ない事情となった。この種子を道産種子と同様に早播したためにとう立をして二度蒔やら他作物に転換を余儀なくされた方も多かったと聞いています。今年も種子は不足気味らしいのでこの点を少し考えて昨年



高橋 総夫



第1図 札幌中央卸売市場月別価格

が近道でしょう。道産種子は道内の自給だけでなく府県の秋蒔、早春蒔など低温期の栽培に使われていて種子、根ともに移出されている重要野菜ということができましよう。とにかく輸入種子を使う時は六月上旬位の温度を長期予報で調べ平年より低い時には五月十日(札幌付近)頃に

## 土壌と施肥

にんじんの適地は排水のよい、保水力の  
ある耕土の深い所であれば土質の適応性は  
広い。

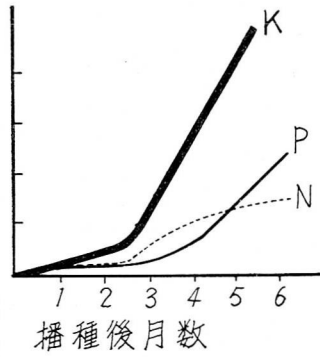
土壌酸度はPH六・〇くらいが適当である  
が、五・三でも生育する酸性には強い方であ  
る。PHを一・〇を上げるに要する炭酸石灰  
の量は三〇〇キ(一〇ア当)を目安にし腐  
植が多い時は増量する。

むかしから言い古されているが、いまだ  
新しいことは堆肥の施用と深耕である。堆  
肥は土の保水力を高め通気性をよくし、無  
効化している肥料成分を有効化して作物に  
返してくれる仲立の役をしてくれる。深耕  
は根群の伸長を深めるほかにもよい効果  
がある。堆肥は未熟なものを与えると物理的  
に岐根を生ずる恐れがあるほか、含まれて  
いる尿素アンモニアが岐根を生ぜさせると  
言われるので使用しない方がよい。この意  
味で濃い人糞尿、牛尿、馬尿の混合物は生  
育初期に与えない方がよいと考えられる。

堆肥を施用する時は一緒に燐酸肥料を堆  
肥にまぶすようにしてすきこむとよい。燐  
酸肥料は土壌と結合して無効化することが  
多く移動性も極く小さいので、土と結びつ  
かせないでしかも土の中に広く分布させる  
ことがのぞまれるわけですから堆肥に附着  
させて耕鋤することが上手な燐酸の使い方  
です。また燐酸肥料として過燐酸石灰を半  
量、他を溶成燐肥または苦土燐肥を使うと  
石灰とマグネシウムを同時に施用すること  
によって一石二鳥以上である。

施用要素量は窒素九キ、燐酸七キ、加里  
は窒素と同量くらいが適当と思われるが、  
火山灰地など燐酸吸収係数の高い所では増  
量しなければならない。

肥料の吸収過程は第二図のように発芽後五  
し六〇日頃より急激に吸収されているから  
大体元肥重点でよいが窒素、加里では六月  
下旬頃分施することよい。施肥期がおく  
れると外皮が悪くなると言われるから化学  
肥料に偏重せず肥効が緩慢である油粕など  
も混用する化成肥料なども肥効の出方、要



第2図 三要素吸収割合

素量なども種々のものが出て土壌の酸性化  
にも考慮がはらわれているので使用して便  
利なものと思われる。

施肥の際カブラヤガの幼虫(ネキリムシ)  
の発生が多い所ではアルドリン粉剤六疋以  
上あるいはVC粉剤三キを作条に施肥ととも  
に散布するとよい。一昨年六月中旬以降に  
発生を見てパッタパッタと切られたがこの  
時はエンドリン乳剤七〇〇倍液を根元に灌  
注したところ翌朝五し六疋もあるのが地上  
に這い出して死んでいるのを見て溜飲の下  
がる思いをしたことがあります。幸いに  
にんじんに被害もなかったのですが、食い倒

## 播種

されてからですから賢明な方法とは申せま  
せん。

にんじんの種時きはいつも発芽まで心配  
するがむずかしいものである。過湿でもだ  
めもちろん乾燥してはまったく発芽しな  
い。ことに札幌名物の馬糞風(最近はおリ  
ンピック誘致するくらいですから馬糞は少  
ないが)が吹く五月中下旬播では尚更苦勞  
する。ロータリー耕耘機を使って耕耘碎土  
する方が多いようであるが、これを一回だ  
け使ってならした畑、二回、三回、四回と  
くり返してレーキでならし、播種の深さを  
一、二、三、四疋とした場合碎土回数  
の少ない時は二し三疋の深い方がよく、四回も  
碎土すると一し二疋の浅い方がよく発芽し  
ている。しかし土壌湿度の高い時は碎土回  
数が多くてもよいが乾燥している時は水分  
の蒸散が多く、土壌孔隙量も小さくなって  
保水力もわるくなり通気も不良となるから  
畑の水分と相談の上きめることである。

## 羽衣種子について

ついでに羽衣種子(火山灰を糊状にして  
毛除種子を雪ダルマ式にころがして仁丹よ  
り大粒にしたもの)についてふれると種子  
を大きくすることににより播種機を使って点  
播することができるから間引も省力化する  
ことができるので北海道のように大面積作  
って生産収入の増加をはかっていかなけれ  
ばならない経営では省力により栽培面積の  
増加をして労働生産性を高めることが必要

である。  
羽衣種子は第二表にみる通り同一条件で  
も普通裸種子にくらべると約二〇%発芽率  
が劣っている。これは主に被覆層による酸

第2表 碎土と播種の深さによる発芽数調査

深さ	毛除種子(インパルブド) (耕耘機使用回数)				羽衣種子(同左を羽衣としたもの) (耕耘機使用回数)				
	1	2	3	4	深さ	1	2	3	4
1疋	49.0	38.0	40.0	50.0	1疋	35.0	40.0	39.0	39.0
2	45.0	42.0	42.0	50.0	2	34.0	37.0	33.0	30.0
3	51.0	47.5	46.5	33.5	3	27.0	23.5	25.5	16.0
4	36.5	33.5	35.0	21.5	4	22.0	17.5	9.8	18.0

注 1.0疋間隔で70粒播種。

第3表 発芽試験

種子の種類	発芽歩合	発芽勢	1000粒重	同左容量
毛除種子	95.0	95.0	—	—
種子破の倍	82.0	59.5	28.4	190~200cc
羽衣を20倍	96.0	91.0	—	—
羽衣を14倍	25.5	5.0	—	—
羽衣	73.0	28.5	—	—

遅延することが多  
い。春先の雑草は  
ハコベ、アカザが  
多くついでツヌク  
サ、スペリヒユ、  
イヌビユ、タデな  
どが初夏から秋に  
かけて繁茂するが  
これを除草剤によ  
って手取除草の労  
力を省くことが是  
非必要である。春

にんじんの  
間引期の除草  
は初期生育が  
おそいため雑  
草に覆われる  
ことが多くこ  
のため生育が

除草剤  
の使用  
によるもの  
被覆層の薄  
いものが発  
芽よく、漬  
した時  
も発芽がよ  
くなる。

先の低温時(二〇度C以下)にはクロロピC(二〇〇)三〇〇(製品量)を水一〇〇立にとかしてミスト機以外の散布機あるいは細目の如露で播種後の土壌が乾燥していない時で、散布後一日位は雨が降らないと予想される時を選んで全面に散布すればよい。対象雑草はハコベ、アカザ、この後高温期でにんじんが生育している時にはゲサミルを二〇〇)三〇〇(製品量)を前記同様散布する。にんじんにかかっても薬害はないがかわらないようにした方がよい。対象雑草はハコベ、ツニクサ、アカザ、スベリヒユなどである。

### 品種について

道内品種は大部分五寸型のもので早生の



第3図ゲザミル100処理の除草効果 7月13日の状態

上より、無処理 発芽期処理(6月9日) 播種後処理(5月28日)

第4表 品種の特性

品 種 名	会社	1本平均重量(g)			根長(cm)		熟期	葉枯病罹性	根色	芯の色	抽臺	根形
		37年8月13日	37年9月19日	38年8月23日	37年8月13日	38年8月23日						
幕張三寸	農試	86.0	174.3	—	10.5	—	早生	ヤ弱	ヤ濃	良	なし	三寸型
レチャ	GS	80.5	296.0	141	12.2	13.2	〃	強	濃	〃	〃	五寸型
ク	FM	69.3	256.0	142	11.4	14.2	〃	強	〃	〃	〃	〃
ク	FM	72.8	268.0	158	12.0	13.8	〃	〃	濃	〃	〃	〃
ク	輸入	68.0	265.8	126	12.3	15.1	中生	中	濃	ヤ良	〃	〃
ク	F I	84.7	173.5	120	13.0	13.7	〃	ヤ弱	濃	〃	〃	〃
ク	B	96.0	229.0	138	15.5	16.4	〃	中	濃	〃	〃	〃
ク	B	80.3	233.5	119	17.9	18.3	〃	強	〃	〃	〃	〃
ク	農試	119.3	357.5	174	15.1	15.3	早生	強	〃	良	〃	〃

ものではアーリーチャンテネー、レッドコアチャンテネーの馴化種あるいは選抜されたもので肩のやや張った短形橙赤色のもので尻のつまったものである。これより稍晩生で長型のはチャンテネーインブルーブドその他の改良種と思われる。極早生のMS三寸はアーリーチャンテネーより早く八〇日で着色もよく収穫期に達し抽臺性もあまりないので早出し用にはよい。

(北海道立農試種芸部 技師)

## 雪印カーフミルク 雪印カーフフード の与え方

三月号で御案内いたしました仔牛育成新飼料全乳代替人工乳「カーフミルク」と早期離乳飼料「カーフフード」の組合せ給与の標準量並びに与えるときの要点を申し上げます。

- (1) 初乳は仔牛にとって絶対必要なので生後三〜四日は必ず初乳を与えて下さい。
- (2) カーフミルクは哺乳の要領で、一日三〜四回に分け、五倍量の湯にといて与えます。湯の温度は摂氏四〇度くらいとし、体温以下にしないようにして下さい。
- (3) 下痢の場合は給与量を加減して、カーフミルク二〇〇gに対し全乳一キの割合で全乳を与えます。回復の状態をみながら、漸次給与表通りに戻します。

雪印カーフ・ミルク 給与標準量  
雪印カーフ・フード (1頭1日あたり)

日 齢	全 乳	カーフミルク	カーフフード	仔牛用配合	乾 草
1 ~ 4	6	必ず初乳を給与する	—	—	—
5 ~ 7	4	300	—	—	—
8 ~ 10	2	600	—	—	—
11 ~ 15	—	1,000	少量	—	少量
16 ~ 20	—	1,200	〃	—	〃
21 ~ 25	—	1,000	200	—	200
26 ~ 30	—	1,000	500	—	200
31 ~ 35	—	700	800	—	300
36 ~ 40	—	500	1,000	—	400
41 ~ 45	—	200	1,300	—	500
46 ~ 50	—	—	1,500	—	700
51 ~ 75	—	—	1,700	—	1,000
76 ~ 100	—	—	2,000	—	1,500
101 ~ 110	—	—	1,500	500	1,700
111 ~ 120	—	—	1,000	1,000	2,000
121 ~ 130	—	—	500	1,500	2,200
131 ~ 150	—	—	—	2,000	2,500
150 日以降	—	—	—	—	2,000

- (4) カーフフードは二〇日頃より少しずつ粉のままなめさせて、味を覚えさせます。
- (5) カーフフードを与え始めたら、水を常備して十分に飲ませます。飲ませ始め、冬期間は温湯を与えるようにすると、下痢の予防になります。
- (6) 乾草は良質の二番刈乾草か苜蓿乾草を給与表にこだわらず、草架を設けて自由に採食させます。
- (7) 乾草の代わりに生草を与える場合は、予乾してから与えます。生後一カ月未満の仔牛に水分の多い生草を与えると下痢の原因になります。
- (8) 一〇〇日齢以降はしだいに雪印仔牛用配合飼料に切り替えてゆき、粗飼料の採食量をのばしてゆきます。

以上の組み合わせ方により、早期の粉状飼料切換ができ、将来の高能力牛の基礎が完成されます。  
なお御使用の際は北海道内、雪印乳業株式会社各工場、集乳所、農酪協を通じて御注文下さい。

(飼料部より)